

> 平成17年度現場見学会が開催されました

平成17年度現場見学会が、栃木県建設技術協会、CCI、地盤工学会との共催で開かれ、県・市町村・建設業関係者や県内の大学などから89人が参加されました。

開催日：平成17年11月16日（水）

見学場所：栃木県日光市 国土交通省関東地方整備局 日光砂防事務所現場 他

日向砂防堰堤及び稲荷川山腹工事現場

野上沢砂防堰堤工事現場

栃木県日光市：日光田母沢御用邸記念公園

見学箇所概要及び見学状況

- 1 : 日向砂防堰堤事業概要

- ・日向砂防堰堤は、大谷川と稲荷川との合流地点より5.2km 稲荷川の上流に位置している。
- ・昭和3年、最初の堰堤が完成。
- ・昭和28年、第1回目の嵩上げ工事を実施。
- ・昭和41年9月の台風26号の被害を受け、昭和44年から調査を実施。
- ・昭和49年から第2回目の嵩上げ工事を開始し、昭和57年、計8年にわたる歳月を費やし現在の堰堤が完成。
(ダム高さ: 46.0m, ダム長さ: 173.0m, 貯水量: 1,280千m³)

- 2 : 稲荷川山腹工事概要

- ・山腹の崩壊をおさえるため、法砕工・植生工が行われている。
- ・工事内容；
 - > 頭部斜面：吹付工 + ロックボルト工
 - > 中央斜面：木柵 + 厚層基材吹付工
 - > 下部斜面：吹付法砕工（枠内厚層基材吹付及びモルタル吹付）



: 野上沢砂防堰堤工事概要

- ・ 本工事は、野上沢・空沢による堆積土砂の流出防止及び生産防止を目的として、下流の民家や学校（高校）を土石流から守るために実施しているものである。
- ・ 現場の地形は、平常時は流水もなく平穏であるが、一時期雨が降ると雨水が浸透せずに流水してしまう。また、工事箇所下流部には過去に土石流があった形跡も見られる。

- > 堰堤本体工：コンクリート 970 m³
- > 副堰堤工：コンクリート 246 m³
- > 側壁工：コンクリート 114 m³
- > 水叩き工：コンクリート 338 m³



：田母沢御用邸記念公園

- ・ 田母沢御用邸は、大正天皇のご静養地として造営されたもので、当地に建てられていた小林家別邸に、旧紀州徳川家江戸屋敷の一部（現在の3階建て部分）を移築したものである。
- ・ 大正天皇のご即位後、大規模な増改築が行われ、現在の姿となっている。



: 街路事業 ; 3・4・1 瀬川森友線 , 3・4・3 大谷川右岸線

- ・ 日光市と今市市の中心市街地を連絡する道路。
- ・ 日光街道のバイパス的な位置付けで、観光シーズンの交通渋滞解消、杉並木の保護、世界遺産日光の社寺の保護、自然保護などにおいて重要な役割を担っている。
- ・ 第1期工区：平成5年に事業認可を受ける。
3・4・1 瀬川森友線 (L = 2,590 m) を含む L = 3,563 m。
- ・ 第2期工区：平成13年に事業認可を受ける。
橋梁を含む L = 1,320 m。
- ・ 第1期工区、第2期工区ともに、平成17年に供用を開始。

詳しくは以下の URL を参照してください。

栃木県 HP : <http://www.pref.tochigi.jp/kouen/keikaku/09/daiya/heimenzu.pdf>